

第一回会報用原稿_’ 26.01.16

NPO 法人化にあたっての理事長挨拶 :

「市民発のベーシックインカム・サービスの実現を考える会」は令和 7 年 12 月 17 日付けで法務局の登記が完了し、特定非営利活動法人（NPO 法人）として、正式に発足致しました。（会社法人等番号 0500-05-013741）

この会は、佐藤一臣副理事長が『ベーシックインカム入門 無条件給付の基本所得を考える』（山森亮、2009 年光文社発行）の読書会として、2021 年 12 月に Facebook 上でスタートさせたのが、始まりです。読書会で、議論を重ねている中で、自分達で、ベーシックインカム・サービスに関する書籍を書いてみたいという思いが沸き、2024 年 3 月より『ベーシックインカム電子書籍化プロジェクト』を発足致しました。その後『ベーシックインカム分科会』という名称では、だれがどのような思いで議論している会なのかが見えないのでないか？という声が上がり、メンバーで検討した結果、『市民発のベーシックインカム・サービスの実現を考える会』という現在の NPO 法人の名称が決まりました。

電子書籍化プロジェクトは、毎日曜日、夜8時から40分×3回のZoom会議を利用して、実施しており、令和8年3月末の段階で合計129回、重ねてきました。進め方は、メンバーの有志が、検討用の原案を提示し、皆で、議論をしながら、修正を加えていくという集団で電子書籍を完成させるという画期的なものです。電子書籍化を進めていく中で、ベーシックインカム・サービスに対する国民の理解と支持の拡大がその実現のためには、必要との判断に至りました。活動の活性化を図るためにには、社会的信用の向上と運営の透明化が必要と考え、NPO法人化していくとの話が令和7年8月に出され、今回のNPO法人の設立に至りました。

ベーシックインカム・サービスの実現は、最後は、国民の要望に基づき、政治を動かし、達成するしか方法はありません。しかしながら、現状は、国民にベーシックインカム・サービスに関する関心は、極めて、低いというのが実情です。ベーシックインカム・サービスに対する理解と支持を拡大する第一歩として、政治に対する国民の関心を高めていこうということで、ベーシックインカム・サービスに限定しない社会、生活、政治、経済等に関する議論を行っていこうとの考え方で、この会の二つ目の柱として、一般討論会を令和7

年の10月から、開始致しました。毎週、木曜日夜8時から40分×2回のZoom会議を利用して、自由で、楽しい、雰囲気の中で、真摯に議論を行っております。NPO法人化後の今後の活動としては、ベーシックインカム・サービスを必要としている個人や組織との連帯を深まるための交流会や合同討論会の開催、更に、理解や支持を深めるための動画作成やイメージソング創作等も予定しております。皆様の積極的なご支援とご協力をお願い申し上げます。